

## 台湾夏期研修報告書

R12-086 吉田隆人

本報告書は、8月11日から8月21日に台湾にて行われた 2013 Yuanpei University Summer School についての報告書です。

今回のサマースクールでは、京都医療科学大学の卒業生が初代学長である 元培科技大学 が行っている夏期中国語及び医療機関訪問研修プログラムに参加させていただきました。今回の研修には台湾の元培科技大学、日本の国際医療福祉大学と京都医療科学大学の3大学の生徒、教員、事務員等が参加しました。京都医療科学大学からは、生徒5名、教員2名で台湾を訪れました。

今回の研修において大学側の目的は「グローバルな医療人を育てること」でした。そのため私は将来、台湾でも仕事ができるように、台湾で人脈を作る、台湾の医療事情について学び理解する、自分の目を海外に向ける、という3点を目的としていました。



今回の研修では、主に4つの活動を行いました。中国語学習、台湾文化学習、観光、台湾の医療事情についての学習、の4つです。中国語学習は4コマで計8時間行われ、中国語での自己紹介や、台湾の歌、色、数字についての中国語を学びました。台湾文化学習では4コマで計13時間かけて台湾の書道や武術などを学びました。観光では、淡水、九份などの観光地を訪れました。

台湾の医療事情についての学習では、元培科技大学学長先生を含め、3名の先生方に大学にて講義していただいた他、4つの医療施設を訪問させていただきました。施設訪問では様々な物を見学させていただきました。台湾での医療事情や台湾文化を実際に目

で見て確認でき、勉強になりました。講義で 台湾では口腔癌が日本よりも多い という事を教わり、実際に病院には口腔癌に関するポスターが多く掲示してありました。私は台湾で口腔癌が多いのは噛みタバコが原因だと考えています。この口腔癌を研究し、将来台湾で仕事ができると良いと思います。

このように、台湾及び海外の医療事情に目を向けられたという点では、今回の研修は成功したと言えると考えています。また、台湾の友人もできたのでその点に関しても成功です。